



# 優 秀 賞

設計部門



## 作品概要

作品名—— 水郷佐原あやめパークのリノベーション  
—風景再生を目指して—  
所在地—— 千葉県香取市  
発注—— 香取市  
設計—— 株式会社グラック  
設計協力—— 株式会社アーク設計事務所  
監理—— 株式会社グラック  
設計期間—— 2011年7月～2015年3月  
施工期間—— 2014年8月～2017年3月  
規模—— 約8.17ha  
主要施設—— 菖蒲田、ハス田、バーゴラ、四阿、トイレ、管理事務所等

## 作品評

本作品は、2011年の東日本大地震で被災した千葉県香取市の「水郷佐原水生植物園」の復興事業である。合わせて、リピーターの確保などの活性化への対応も求められた。  
応募者は6年前の再整備基本計画で受託し、3期に分けたオープンの後、今春グランドオープンとなった。当該地は従前から人気の観光地であり、水郷景観とあやめという十分なポテンシャルを有していた。今回の再整備では、こうした基盤を最大限活用するとともに、過去の原風景の再生という手法により、新たな時代への対応を図っている点が評価された。新設された建築物群も含めて、オーソドックスな手法ではあるが、丁寧に、そして確実に実施されている。こうした仕事の結果、現地の状況も良く、また、提出されたプレゼンテーションも十分に評価された。

設計部門



①敷地周辺の水田地帯 ②敷地内の水面と隣接する与田浦を望む ③④小野川沿いの歴史的街並みを参考にしてデザインした広場・建築の模型と完成した建築群 ⑤花菖蒲を鑑賞しながら楽しむ野点サービス ⑥一年間の演出・体験プログラム

# 水郷佐原あやめパークのリノベーション

## —風景再生を目指して—

### 株式会社グラック

北川明介・西山秀俊・岸井悠子

本プロジェクトは2011年に発生した東日本大震災で被災した千葉県香取市に立地する「水郷佐原水生植物園」の復興事業として立ち上げられ、2011年度に基本計画策定、翌年度に基本実施設計を行い、2017年6月に「水郷佐原あやめパーク」としてグランドオープンしました。

計画・設計の対象となった水生植物園は、香取市の北西に広がる水田地帯に位置し、周辺一帯は「水郷」と呼ばれる地区です。水生植物園再整備計画・設計に当たり、市から与えられた課題は、1. 秀麗な花菖蒲園として「周辺環境とは異なる空間」演出、2. 新規顧客・リピーターの獲得、3. 与田浦地域全体の活性化、4. 通年で楽しめる魅力ある施設への4点でした。これに応えるため、震災被害により失われた「水郷地域本来の風景をとりもどす」こと、即ち、「風景再生」を再整備デザインの目的・目標におくこととし、〈水とつながる〉〈地域とつなが

る〉〈人とつながる〉の3つをソリューションキーワードに据えて設計を進めました。

### 水とつながるデザイン

水郷の風景をつくりだす上で無二の存在とも言える隣接する与田浦を取り込み、人と水（辺）との関係性、接し方を強調・最大化するため、敷地東側に走る市道の一部を廃道とし、水郷ならではの広がりのあるパースペクティブな風景をつくり出しました。

### 地域とつながるデザイン

水郷地域固有の歴史・文化的「形」を水生植物園に反映させるため、江戸期から栄えた街並みの賑わいや地域が育んだ「美」への想いをちりばめるデザインをしました。特にあやめ広場で

は、佐原地区に現存する長屋門や小野川に沿った歴史的街並みを参考にし、エントランスゲート・管理棟など建築物のグランドデザインを提案しました。

### 人とつながるデザイン

人と人が交わる場面を生む「場」をセット（デザイン）することが重要と考え、1年の行事を介した来園者と地域住民の交流の場として、水生植物園ならではの交流・体験の舞台空間をつくり出しました。また、風物・お祭りに合わせた1年間の演出や体験イベントなどのプログラムを提案し、グランドオープンでは、再整備前から実施されていたサップ舟に加え、広場での野点サービス、地元食材を使ったカフェや土産物店が新たにオープンしました。